

□ date : 12.2010
 □ check :
 □ name :

歯学部附属病院 インプラント外来

国内トップの実績を誇るインプラント治療

▶ インプラント外来 ●インプラント外来のメンバーは、日本トップクラスの治療実績を支えている。数人ごとにグループを組み、1人の患者さんに対してグループで取り組む。グループは毎年シャッフルされるので、若手は複数の先輩医師から様々な技術を学ぶことができる。医員になったばかりの若手医師でも、専門医並みの高い治療技術を持つ。



Implant Treatment

▶ インプラント治療 ●3次元画像によるシミュレーション(右上)などを行っている。

歯学部附属病院のインプラント外来は、日本の大学病院で初めて、インプラント治療を行う専門外来として開設され、年間約1800本のインプラントを埋入している。他施設の専門外来でも多くて700本程度なので、治療実績は群を抜いている。

インプラントは、虫歯、歯周病、事故などで欠損した歯の代わりに人工物を埋め込む治療。顎の骨にネジ状の人工歯根を入れ、その上に人工の歯を装着する。自分の歯のように自然に噛めるのが特長だ。入れ歯による噛み合わせの違和感、ブリッジの治療に伴い健康な歯を削ってしまうという心配もない。

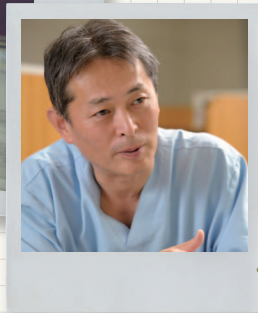
1980年代から普及した治療法で、近年は材料や治療技術も進展している。チタン製の人工歯根を使用したり、手術前に細かなカウンセリングや、3次元画像によるシミュレーションなどを行う。

診療科長の春日井昇平教授は語る。「インプラントは、歯科治療のなかでも高度な技術を要します。患者さんに安全な治療を提供するため、様々な技術開発を進めています」

例えば、事前に撮影したCT画像を基に作成した手術用のテンプレートをを用いて行う「ガイドド・サージェリー」では、無切開手術が可能で、腫れや痛みもなく、手術したその日に噛むことができる。また、埋め込む土台となる骨がない場合には体の別の部分から骨を採取して行う自家骨移植を行うが、この方法も負担が大きいため、骨形成を促進する作用を持つ物質を使った骨補填材を独自に開発。骨に置換する材料として注目を集めている。



Implant Dentistry



▶ 春日井昇平教授 ●「治療時の恐怖心が強い方には、静脈に鎮静剤を入れて半ば夢見心地のまま治療できる静脈鎮静法という方法もあります。治療に不安がある方はご相談ください」

Professor Kasuga



Conference

▶ 症例検討会 ●インプラント外来の全スタッフによる症例検討会は頻りに開催されている。患者への確実な治療が行われるとともに、スタッフの技術が向上。最新の治療法にも意欲的で、国際インプラント学会では「クリニカル・イノベーション」を2年連続して受賞するなど、国際的に見てもトップクラスの臨床チームとして知られている。

診療科 DATA

診療科長：春日井昇平 教授
医師：塩田真 准教授、立川敬子 講師、黒田真司 助教、宗像源博 助教、山口葉子 医員、中田秀美 医員、作山葵 医員、中村貴弘 医員、小林裕史 医員、清水勇氣 医員、佐藤大輔 医員
主とする疾患：歯牙欠損症
主な診断・治療法：インプラント外科手術、補綴治療、メンテナンス
高度先進医療：骨移植、ガイドド・サージェリー、サイナスリフト(上顎洞挙上術)